令和4年度決算に係る

定期監査

資 料

決 算 審 査

令和5年7月

教育委員会事務局 社会教育課

目 次

	1	前年度指摘事項等に対する措置等・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・	1
		(1) 勧告事項	
		(2) 指摘事項	
		(3) 監査意見	
		(4) 決算審査意見	
	2	前年度県議会決算審査特別委員会の指摘事項に対する処理状況・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・	1
	3		1
	4	役付職員の調べ・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・	1
	5	主な事業に関する調べ・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・	2
	6	決算資料 · · · · · · · · · · · · · · · · · · ·	6
	7	事業別実施状況調べ・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・	8
	8	予備費の充用調べ・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・	18
	9	現金の取扱状況・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・	18
		(1) 現金取扱状況	
		(2) つり銭の状況	
1	0	財産に関する調べ・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・	18
		(1) 公有財産	
		(2) 金券類の保有状況	
		(3) 基金	
		(4) 債権	
1	1	財産の貸付け及び使用許可調べ・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・	20
		(1) 土地及び建物	
		(2) 物品(1品の取得価格が100万円以上のもの及び寄附受納時の評価額が100万円以上の	りもの)
1	2	借受不動産明細調べ・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・	23
1	3	職員駐車場の管理状況調べ・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・	23
		(1) 管理状況	
		(2) 減免の考え方	
		(3) 使用料の見直し	
1	4	寄附物件の受納状況調べ・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・	23
1	5	備品の処分状況調べ・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・	24
1	6	貸付金等状況調べ・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・	24
		(1) 総括表	
		(2) 償還状況	
	0) 意見、要望等 · · · · · · · · · · · · · · · · · · ·	24

- 1 前年度指摘事項等に対する措置等
- (1)勧告事項

該当なし

(2)指摘事項 該当なし

(3)監査意見 該当なし

(4)決算審査意見 該当なし

2 前年度県議会決算審査特別委員会の指摘事項(ロ頭指摘を含む。)に対する処理状況 該 当 な し

3 職員の定員、現員調べ

₹	重別	事務	職員	技術	 職員	現業	 職員	合	計	備考
		5. 4. 1	4. 4. 1	5. 4. 1	4. 4. 1	5. 4. 1	4. 4. 1	5. 4. 1	4. 4. 1	
区分		現 在	現 在	現 在	現 在	現 在	現 在	現 在	現 在	
	_	16	16					16	16	社会教育課(10)、船上山
定	員									③ 、九山 ③
	_	(6)	(6)	()	()	()	()	(6)	(6)	派遣研修専門指導員
現	員	23	23					23	23	受入(6)
										(船上山、大山各3、うち
										各1は4月~9月のみ配置)
										(R5の派遣元:
										米市1、倉市1、岩町、
										湯料(町)、大川町()
過不	哫(△)	7	7					7	7	派遣研修専門指導員
										受入(6)、社会教育課過
										員(1)
	時 的	0	0					0	0	
任月	用職員									
会計	十年度	1	2	·				1	2	広報専門員(1)
任月	用職員									

4 役付職員の調べ

(令和5年7月1日現在)

職名	氏 名	在 職	期間	備考
課長	西尾 麻都子	2 年	4 月	
課長補佐	(併)		4	環境立県推進課星空環境推進室課長補佐
	上村 由美子			
課長補佐	尾崎 浩三	1	4	
課長補佐	(併) (兼)		4	子育て・人財局家庭支援課課長補佐
	毎野 良子			小中学校課課長補佐
船上山少年自然の家所長	中本 祐二	1	4	
大山青年の家所長	瀬尾 徹治	2	4	

5 主な事業に関する調べ

(単位:千円)

事業	_Z	決算額		財 源	内 訳	
事 未	名	次 昇积	国庫支出金	起債	その他	一般財源
インターネットとのi	適切な接し方教	3, 026	0	0	0	3, 026
育啓発推進事業						
将来ビジョン	_					
令和新時代創生戦略	2. 人々の絆が糸	まばれた鳥取のま	きちに住む (:	2)人材と	っとり①未来?	を拓く人づく
	り SDGsゴー	-ル(04 質の高	い教育をみん	なに)		
政策項目	_					

1 事業の目的、概要

インターネット環境の急速な発達により、スマートフォン・ゲーム機・タブレット端末等の電子メディア機器 が子どもたちの生活の中に浸透し、利用の低年齢化も進んでいることから、保護者や子どもたちに対し、電子メディア機器とのよりよい接し方(*)について教育・啓発を行う。

*よりよい接し方…トラブルや犯罪に巻き込まれたり、生活習慣が乱れたりすることのないよう、インターネット の特性を理解し、モラルやマナー等を考えて電子メディア機器を使用する。

2 事業の内容、実施の状況

(1) 鳥取県子どものインターネット利用教育啓発推進協議会事業

【委託先:鳥取県子どものインターネット利用教育啓発推進協議会】

①協議会の開催

電子メディア機器との関わり方やインターネット・スマートフォン利用の教育啓発推進の方向性や施策について検討した。(5月27日、1月19日)

- ②「とっとり子どもサミット~インターネットとの理想的な付き合い方を考えよう~」の開催 県内の小・中学生と保護者が、インターネットとの適切な付き合い方について話し合うワーク ショップを実施した。
 - ·開催日: 令和4年6月11日(土)、令和4年6月18日(土)、令和4年6月25日(土)
 - ・会 場:伯耆しあわせの郷、国府町コミュニティセンター、米子コンベンションセンター
 - ·参加:65名(小学生8名、中学生7名、保護者50名)
- ③第52回日本 PTA 中国ブロック大会くらよし大会における「とっとり子どもサミット」の取組発表平成29年度から6年間、本協議会事業として実施してきた「とっとり子どもサミット」(上記2)の取組発表を、第52回日本 PTA 中国ブロック大会くらよし大会で行った。

電子メディア機器等の危険性ばかりでなく、より良い使い方について、児童生徒が主体となり考え、取り組んできた内容を発表したほか、SNS トラブルから子どもを守る合言葉「とりのからあげ(※)」の広報・周知も同時に行った。

- •開催日:令和4年11月12日(土) •会場:鳥取県立倉吉未来中心
- 参加:1,285名(オンライン配信視聴含む)
- ※「とりのからあげ」…以下の頭文字をとった標語。
 - 「と」もだちがきずつくことをしない
 - 「り」よう時間をきめよう
 - 「の」せない個人情報
 - 「か」きんしない
 - 「ら」いんは相手の事を考えて送信
 - 「あ」わないSNSで知り合った人
 - 「げ」―むソフトの年齢制限を守る
- ④「電子メディアとの付き合い方学習ノート」の作成・配付

子どもたちが主体的に電子メディア機器の使い方を振り返ったり、家庭で話し合ってルールを決める際や学校での情報モラル教育の充実に資する学習ノート(シート)を作成し、県内の全小・中・高校生に配布した。

・種類(作成部数):小1~小3用、小4~小6用、中・高校生用の3種(合計66,200部)

⑤子どもの適切なインターネット利用に関する啓発イベントの実施

関係団体・施設・市町村等が開催するイベントにおいて、適切なインターネット利用に関する 啓発を行った。

- 開催日:令和4年8月21日(日)、令和4年11月19日(土)、令和4年12月11日(日)
- ・会場:鳥取県立倉吉未来中心、鳥取砂丘こどもの国、境港市民交流センターみなとテラス
- •参加:201名
- ・内 容: GIGAクイズラリー、「とりのからあげ」缶バッジ作成、啓発資料の配布等
- (2) 鳥取県インターネット問題予防対策事業

情報モラル教育、メディアリテラシー、シティズンシップ等について専門的知識を有する者を県内の学校に派遣し、児童・生徒を対象とした授業と併せて教職員研修を行った。(新型コロナウイルスの感染拡大状況に応じ、オンラインでも実施)

- 派遣実績:20校 (小学校12校、中学4校、高等学校3校、特別支援学校1校)
- (3) インターネットとの適切な接し方教育啓発講師派遣事業

【委託先: NPO法人こども未来ネットワーク】

①鳥取県ケータイ・インターネット教育推進員派遣

PTAや地域等で開催される学習会に、ケータイ・インターネット教育推進員を講師として派遣した。

- 推進員:25人(令和4年度末)
- ・派遣実績:45件(保育園・幼稚園7件、小学校23件、中学校5件、高校5件、その他5件)
- ②乳幼児保護者向けチラシの作成・配布

電子メディア機器利用の低年齢化が進んでいることから、乳幼児期の電子メディア機器の適切な利用について啓発するチラシを作成・配布した。

- ・配布先:県内の幼稚園・保育所・認定こども園等 ・作成部数:約 26,500 部
- 3 事業成果(改善状況)・課題等
- (1) 事業成果(改善状況)
 - ・とっとり子どもサミットの開催や、電子メディアとの付き合い方学習ノートの活用等により、子どもが主体的に電子メディア機器の使用ルールを考えたり、作成したルールを大人(保護者)と共有し理解を深める契機とすることができた。
 - ・コロナ禍においても、オンラインを活用した講師派遣や、感染防止対策を講じた啓発活動の実施により、情報モラル教育の重要性について意識を高めることができた。
- (2)課題
 - ・GIGAスクールや社会のデジタル化の進展に伴い、子どものICTの活用を前提として、安全でより良い使用につながる啓発、情報発信が行えるよう関係者と協力して取り組む必要がある。

(単位:千円)

事業	 名	決算額		財	源	内	訳	
→ 未 	10	人 异似	国庫支出金	起	債	そ	の他	一般財源
地域学校協働活動推进	進事業	36, 099	17, 744					18, 355
将来ビジョン	6【育む】次代に「	句けて、躍動する	「ひと」を育む	(1)	地域や	つ職場	との連	隽などにより、
	安心して子育てでき	きる環境が進展	(3) 子どもた	ちの地域	域への動	愛着と	誇りが	醸成
令和新時代創生戦略	2. 人々の絆が結に	ばれた鳥取のまちに	に住む (2)人	財とっ	とり ②	2地域	を支え	る人財の育成
	SDGsゴール	(04 質の高い教	育をみんなに	:)				
政策項目	_							

1 事業の目的、概要

社会総がかりで子どもたちを育むために、公立学校に学校運営協議会制度(コミュニティ・スクール (※)、以下「CS」という。)を導入し、学校・家庭・地域の連携・協働体制を確立する。また、学校を核として地域住民等の参画や地域の特色を生かした事業を展開することで、まち全体で地域の将来を担う子どもたちを育成するとともに、学校を核とした地域づくりを推進する。

※学校運営協議会制度(コミュニティ・スクール)

…保護者や地域住民等が一定の権限と責任を持って学校運営に参加することにより、学校と地域が一体となって、子どもたちの豊かな成長を支え「地域とともにある学校づくり」を実現するための仕組み。

2 事業の内容、実施の状況

(1) 県実施事業

①CSと地域学校協働活動の一体的推進に関する研修・資料配布

ア 令和4年度鳥取県「コミュニティ・スクール推進研修会」兼「地域学校協働活動研修会」の開催

• 開催日: 令和4年11月14日(月)

・開催場所:米子市淀江文化センター(※ライブ配信と併用)

- ・対象:県・市町村行政関係者、学校管理職、教職員、学校運営協議会委員、地域学校協働活動推進員、地域コーディネーター、公民館職員、学校支援ボランティア、PTA関係者、保護者、地域住民等
- 参加者数:300名(会場137名、ライブ配信163名)
- ・内容: パネルディスカッション

事例発表者 鳥取県立岩美高等学校 校長

岩美町教育委員会事務局 社会教育係 主任山口県萩市立萩東中学校 学校運営協議会委員

進行役 文部科学省CSマイスター(南部町教育委員会教育長)

コメンテーター 文部科学省CSマイスター(山口県教育庁義務教育課 主幹)

講義「CSと地域学校協働活動の一体的推進について」

講師 文部科学省CSマイスター(山口県教育庁義務教育課 主幹)

- イ パンフレットや動画を活用した啓発・伴走支援
 - ・CSと地域学校協働活動の一体的推進に係るパンフレットを配布するとともに、啓発動画を作成し、市町村教育委員会事務局等を対象に、CSと地域学校協働本部の導入と一体的推進の必要性等について説明等を行った。
 - ・パンフレット配布先(配布部数): 県内全公立学校・公民館、市町村教育委員会事務局(2,000部)
 - 動画再生回数:630回 (R5.3.31 時点。R5.6月末現在で922回再生。)

②放課後子供教室等の地域学校協働活動に対する支援

ア 放課後児童クラブ・放課後子供教室安全管理研修会の開催

放課後児童クラブを所管する子育て王国課と協力して、放課後児童クラブ及び放課後子供教室関係者を対象に安全管理に関する知識や技能を高めるための研修会を開催した。

・実施方法:新型コロナウイルス拡大防止のため、動画配信により研修を実施

• 視聴者数: 125名

・配信の期間: 令和5年2月20日(月)から3月10日(金)まで

・内容:「発達障がいの特性、特性が気になる子どもへの支援のコツ、支援の実際等」

講師:『エール』発達障がい者支援センター 係長

イ 放課後児童クラブ・放課後子供教室指導者等研修会の開催

放課後児童クラブを所管する子育て王国課と協力して、放課後児童クラブ・放課後子供教室等の指導者等を対象に、専門的な知識と指導技術の習得のための研修を開催した。

・実施方法:新型コロナウイルス拡大防止のため、Web会議システムにより研修を実施

· 開催日: 令和4年7月15日(金)

- 参加者数: 138名

・内容:「子どもや保護者との関係構築について」

講師:岡山コミュニケーション研修講演企画 代表

ウ 令和4年度鳥取県子どもの学びの環境等生活困難者対策連絡会議研修会

困難を抱える家庭への学習支援等を所管する家庭支援課と協力して、子どもの貧困対策の一つでもある地域未来塾等の学習支援の取組の効果と、貧困の連鎖を断ち切るために必要な力を育むための実践と成果について知り、関係者の資質向上及び今後の取組の充実を図った。

※地域未来塾:中学生等を対象に地域住民(退職教員や大学生等)の協力により実施する学習支援

- ・開催方法:新型コロナウイルス拡大防止のため、Web会議システムにより研修を実施
- ・対象者:県・市町村福祉部局担当者、県・市町村教育委員会関係課、社会福祉法人鳥取県社会福祉協議会、各市町村社会福祉協議会、ソーシャルスクールワーカー、地域コーディネーター、学習支援事業実施団体、こども食堂運営団体等

参加者数:25名

• 開催日: 令和5年3月14日(火)

内容: テーマ「困難のある子どものためのサポート方法や学習支援について」

講師: 特定非営利活動法人あっとすく一る 理事長

(2) 市町村への補助事業

国庫補助(学校を核とした地域力強化プラン事業)を活用した市町村への財政支援(市町村事業費の2/3(国1/3、県1/3))

- 補助金活用市町村数:17市町村1学校組合(中核市は国が直接補助)
- 補助対象事業: CSの導入、放課後子供教室の実施、地域未来塾の実施等
- 3 事業成果(改善状況)・課題等
 - (1) 成果及び効果
 - ・コロナ禍でも研修会の実施方法を動画配信やオンライン形式等に替えるなど工夫したことで多くの人への 情報提供や事例の共有を図ることができた。
 - ・CSと地域学校協働活動の一体的推進に係るパンフレットを用いて事業説明を行うことにより、取組の一層の理解と推進を図ることができた。

【鳥取県教育振興基本計画(2019年度~2023年度)に掲げる関連指標の状況】

項目	目標値 (令和5年度)	令和4年度末	令和3年度末
学校支援ボランティア登録数	9,000人	6, 407人	6, 540人
地域学校協働本部を整備している公立学校の割合	全ての公立学校	62. 8%	56.8%
CSを導入している公立学校の割合	全ての公立学校	88.9%	67. 5%

(2)課題

・県教育審議会生涯学習分科会の建議「地域の特性を生かした持続可能なコミュニティ・スクールと地域学校協 働活動について」(令和4年9月)を踏まえ、市町村や学校、地域の状況に応じ、CSと地域学校協働活動に 関し、制度や活動への理解促進、人材確保・育成、円滑な導入・運営への支援を継続して行う必要がある。

6 決算資料

	一般会計(歳入)							東)	(単位:円)	
			予算	現額						
X	本			継続費及び		調定額	収入済額	卜 整久	不納欠 収入未済額	舗売
尔		当初予算額	補正予算額	繰越事業費	盂			損額		
				繰越財源充当額		A	В	O	A-B-C	
	教育使用料	305,000	0	0	305,000	330,740	330, 740	0	0	
ゼ	行政財産使用料	116,000	0	0	116,000	122, 920	122, 920	0	0	
\prec	教育費国庫補助金	27, 787, 000	△ 2, 652, 000	0	25, 135, 000	19, 882, 000	19, 882, 000	0	0	
	雑入	0	0	0	0	247, 577	247, 577	0	0	
	繰越金	(0)	(0)	0	(3, 900, 000)	(3,900,000)	(3, 900, 000)	(0)	(0)	
		0	O	\sim	3, 900, 000	3, 900, 000	3, 900, 000	0	0	
	教育債	(0)	(0)	(26, 000, 000)	(26,000,000)	(26,000,000)	(26,000,000)	0	(0)	
		96,000,000	48,000,000	26,000,000	170,000,000	120,000,000	120, 000, 000	0	0	
	仙	(0)	(0)	(29, 900, 000)	(29, 900, 000)	(29, 900, 000)	(29, 900, 000)	(0)	(0)	
		124, 208, 000	45,348,000	29, 900, 000	199, 456, 000	144, 483, 237	144, 483, 237	0	0	

		華	析																				
: : H)	差引残額	(不用額)	A-B-C		4,465,000			15,963,868				4,439,437					(0)	60,900				(0)	24,929,205
:)	翌年度	繰越額	O		0			0				43,615,000					(0)	11,740,000				(0)	55,355,000
)内訳		出納機関		0			1,048,476				4,301,000					(0)	0				(0)	5,349,476
	支出済額の内訳		₩		3,919,000			54,923,656				87,082,743					(29,900,000)	225,193,920				(29,900,000)	371,119,319
	支出済額	(決算額)	Ф		3,919,000			55,972,132				91,383,743					(29, 900, 000)	225,193,920				(29, 900, 000)	376,468,795
			盂	٨	8,384,000			71,936,000				139,438,180					(29, 900, 000)	236,994,820				(29, 900, 000)	456,753,000
	砮	予備費	支出及び	流用増減	8,384,000			△438,000				△215,820					(0)	653,820				(0)	8,384,000
	算 現	継続費及び	繰越	事業費繰越額	0			0				0					(29, 900, 000)	29,900,000				(29, 900, 000)	29, 900, 000
	子		補正予算額		0			△ 7, 170, 000				△ 12, 629, 000					(0)	61, 580, 000				(0)	41, 781, 000
十(歳出)			当初予算額		0			79, 544, 000				152, 283, 000					(0)	144, 861, 000				(0)	376, 688, 000
一般会計		本目			財産	管理	費	社	教育	総務	費	青少	年社	伙	前	設 費	年	照	ない	₩ 	黄	合計	
'		X	尔				搬			丑													

7 事業別実施状況調べ

** (20 (20 (20 (20 (20 (20 (20 (20 (20 (20												
業		予	算 現	引 額	řím,		十二次站	8年 中	苯 三 莊 站	非化		
各	当初予算額	補正予算額	継続費及び無越事業費繰越額	予備費 支出及び 流用増減	ご らば	t d	メロダ銀 (決算額) B	安十及 繰越額 C	を51%観 (不用額) A-B-C	秋1 	事業計画と実績・成果、 繰越、不用額の理由等	排
	財産管理費											
指定管理施売の金額	0		0	0 8, 384, 000		8, 384, 000	3, 919, 000	0	4, 465, 000	46.7		
段の元潔貨ーロ器対策サー	全国的に電気	5・ガス代の	・ガス代の高騰が続き、県	県立の指定管理	筝理施設 (こおいても	光熱費の支払	施設においても光熱費の支払額が増加している	いることを踏まえ、		公の施設の安定運営を実施し、県	県民
	福祉の向上を図	3るため、指	福祉の向上を図るため、指定管理施設の光熱費を追加負担	ら熱費を追か	n負担した。	Ť)						
	施設名	5名	上限額	ļum²	追加負担額	3客						
	生涯学習センタ	4-	6, 7	6, 764 千円	3, 00	3,000 丰田						
	船上山少年自然の家	然の家	6	919 千円	6	919 千円						
	大山青年の家		7	701 千円		田 0						
	(不用額が予算現額の3割以上となった理由) 令和3年度の光熱費決算額こ物価の伸びを考り	諮の3割以上 費決算額こ物	(不用額が予算現額の3割以上となった理由) 令和3年度の光熱費決算額こ物価の伸びを考慮した率を乗じて算出	た率を乗じて		した上陸額より、	各指定管理施設	各指定管理施設が必要とする額が低かったため。	伝かったため。			
二二	0		0	0 8, 384, 000		8, 384, 000	3, 919, 000	0	4, 465, 000	46.7		
(目名) 社会	社会教育総務費											
社会教育企	6, 644, 000		0	0 △438, 000		6, 206, 000	4, 971, 373	0	1, 234, 627	80.1		
画	(1) 教育審	議会生涯学	教育審議会生涯学習分科会兼社会教育委員会議の開催	教育委員会	議の開催	3101						
	社会教育学ための考えた	を員会議がコ 5と施策例を	禹ュニティ・フ 取りまとめた選	くクールと ⁵ 탈議書を県教	D域字校1 X育委員3	協働活動の、令へ提出など	一体的推進に, れ、また、社3	ついて調査・暑 会教育関係団体	腎議し、地域の特応 2への補助制度、∃	±を生かし Fどもの自	社会教育委員会議がコミュニティ・スクールと地域学校協働活動の一体的推進について調査・審議し、地域の特性を生かし持続可能な活動としていく ための考え方と施策例を取りまとめた建議書を県教育委員会へ提出され、また、社会教育関係団体への補助制度、子どもの自然体験活動等について意見	~
	を伺った。											
	日解	-	会場					会議の内容	7容			
	令和4年8月3	31日 鳥	鳥取県東部庁舎	.⊐≅⊐= <i>∓</i>		ラールと地垣	或学校協働活 動	りの推進に関す	イ・スクールと地域学校協働活動の推進に関する建議(案)について	2		
	令和4年9月2	22 日	Ι	建議「址	9域の特化	生を生かした	⁻持続可能な⊐ミ	ミュニティ・スク-	- ルと地域学校協働	動活動に向	建議「地域の特性を生かした持続可能なコミュニティ・スクールと地域学校協働活動に向けて」を教育長に提出	
	令和4年11月	月 18日 伯	伯耆しあわせの郷		年度社会	:教育関係回	・令和5年度社会教育関係団体への補助金について	といつこと				
				任期中	コの調査・	・任期中の調査・審議事項について	こついて					
	令和5年3月1	当 日 91	県立生涯学習セン		ュの調査・	・任期中の調査・審議事項について	2110:					
		<u> </u>	4-	・コニュニテ	ニティ・スク	ケールと地域	丈学校協働活動	イ・スクールと地域学校協働活動に関する取組状況の報告	犬況の報告			

各種研修派遣 (2)

第 64 回全国社会教育研究大会兼第 44 回中国・四国地区社会教育研究大会(広島大会)へ生涯学習分科会委員を派遣した。

(3)とっとり県民カレッジ講座の開催市町村と連携し地域課題の解決につなげられるテーマの講座を開催するとともに、県内大学と連携しながら、県民の多様なニーズに応える学習機会 を提供した。

① とっとり県民カレッジ講座(市町村連携)

通常講座

,lı~	回数	回数	回 数
備考	動画視聴 276回	動画視聴 338回	動画視聴 510回
受講者数	28人	53人	午前86人 午後76人
連携先市町村等	倉吉市教育委員会	若桜町教育委員会	西部地区社会教育担 当者研究協議会
開催テーマ	つながる先の可能性!~地域と若者がまちを変える~	えつ!若桜ってこんなすてきなまちだったの?「わ」 ワクワク!「か」感動!「さ」再発見!	地域を育む「まちに飛び出す高校生」
会場	上灘コミュニティセ ンター	若桜町公民館	境港市民交流センタ 一みなとテラス
期日	令和4年7月17日	令和4年9月3日	令和4年10月8日

特別講座(県内大学と連携実施)9回実施 7

大学名	受講者数
鳥取看護大学・鳥取短期大学(5回)	797
公立鳥取環境大学(2回)	43人
鳥取大学(2回)	145人
+	467人

93機関 1,710講座 ② 連携講座

(4) 中学校トークプログラムの普及

中学生と地域の大人・大学生が少人数のグループで、働き方や生き方等のテーマに沿って自由に話す「中学校トークプログラム」を実施する市町村 や学校を支援し、中学生の自己肯定感、ふるさとに対する貢献意識の向上を図った。

128 日 伯耆町立岸本中学校 130人(中学校3年生:67人、地域612 日 米子市立美保中学校 94人(中学校3年生:52人、地域613 日 1913 日 鳥取市立東中学校 192人(中学校2年生:125人、地域619 日 鳥取市立東中学校 192人(中学校2年生:20人、地域619 日 鳥取市立気高中学校 171人(中学校2年生:20人、地域619 日 米子市立湊山中学校 171人(中学校2年生:111人、地域619 日 米子市立湊山中学校 171人(中学校2年生:111人、地域619 日 米子市立湊山中学校 171人(中学校2年生:111人、地域619 日 北市立美口中学校 171人(中学校2年生:111人、地域619 日 北市立美口中学校 171人(中学校2年生:111人、地域619 日 北市立第二中学校 171人(中学校2年生:110人、地域7年12 日 182 日 182 日 182 日 182 日 183 日 183 日 183 日 183 日 184 日		<実施状況> 「	↑ ₩ ₩	<u>Ш</u>	田 佐 花			*************************************	然言人巻			
業 ② かり 教進 町 町 右 七 な 有事			工 引 、	K :		-			××く.			
***		令和4	年6月28	伯耆町立岸2	4 中学校	\prec	年生	人、地域の大	人:39人,			
**		令和4	年9月22	米子市立美	呆中学校	\prec	年生	人、地域の大	人:26人、			
業 心が切象進 町育とな 有事 村振 とな を 登 を 社 課 社 課 工		令和4:	年11月13	鳥取市立東四	中学校	\prec	年生	·\	人:35人	: 32		
業 か切教進 町舎 対張 となる事 対照 社会 を を を を を を を を を を を を を を を を を を		令和4:	年11月	鳥取市立千	弋南中学校	$\check{\prec}$	年生	人、地域の大	· : 11 人			
業 (かり 教進) 町 街 大		令和4:	年11月	日野町立日	野中学校	$\check{\prec}$	1~3	:46人、	人:24人、		,	
業		令和4	12 月3	鳥取市立気	高中学校	\prec	学校2年生:45	Ϋ́	: 21 人,	生:28人)		
**		令和4	12 月 9	米子市立湊1	L中学校	171人(中章	年生	$\vec{\prec}$	人:46人、			
業 ② かり 教進 町 街 右 と な 有 事		令和5	2月6	伯耆町立溝口	1 中学校	\prec	学校2年生:25	人、地域の大	:14人、			
**		令和5	町	江府町立奥7	大山江府学園		務教育学校 6、	7 年生:27 人	、地域の大人:1		: 16	
**		令和5	年2月24	境港市立第二	二中学校	194 人(中等	学校2年生:10()人、地域のア	大人:56 人、大学	4年:38人		
**		(流用 438, 0	000 円のうち、	142, 000 円は大	山青年の家運	費へ流用、	96, 000 円は生》		-運営費へ流用)			
業 (容員		2. 2. 3. 4. 4. 4. 4. 4. 4. 4. 4. 4. 4. 4. 4. 4.	羽在市	朱山田路	1/5		
業 (かり 教 進) 五 毎 名 名 な 信 年 名 本 経 を 注 課 社 興 社 興 社 興 注 興 注 興 注 興 注 興 対 関 第 2 2 2 2 2 2 2 2 2 2 2 2 2 2 2 2 2 2				総続書及7K	垂		影矢HA	出其	走引烧戳	型(1		青• 成果
でかり 参進 日 信 2 4 5 4 5 4 5 4 4 4 4 4 4 4 4 4 4 4 4 4	無	当初予算額	補正予算額	繰越事業費	支出及び		(決算額)	繰越額	(不用額)	掛る	を 機越、 不用額	の理由等
である。 ・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・				繰越額	流用増減	A	Я	၁	A-B-C	B/A		
なる なる 独密業 社会 注照 社会 対し、 対し、 対し、 対し、 対し、 対し、 対し、 対し、	(王)											
切 教 進 毎 毎 年 本 振 春 春 春 春 春 春 春 春 春 春 春 春 春 春 春 春 春 春	インターネットと	4, 700, 000	0	0	0	4, 700, 000	3, 025, 811	0	1, 674, 189	64. 4		
を 強性 お お お お お は な な は な な は な は は は は は は は	の適切な接	主な事業に関す	- る調べのとお	6								
番	し方教育啓											
き 単一 単一 単一 単一 単一 単一 単一 単一 単一 一 一 一 一 一 一	発推進事業	(不用額が予算現	髂負の3割以上とな	こうを理由)								
が相次き、事業の一部を中止したことによる民人があったため。 町村社 2,765,000 △518,000 0 0 市城の教育力を高め、県全体の社会教育の推進を図るため、(1) 県・市町村対象の生涯学習・社会教育担当者研修の実(2) 社会教育協議会主催の研修会に対する助成(3) 社会教育主事養成講座の実施 (3) 社会教育主事養成講座の実施		インダーヤシア	との適切な接し	方教育啓発講師	所置事業の委・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・	託先において、	新型コロナウイ	ルス感染症の	影響によりケータイ	ト・インダーブ	トット教育推進員(の派遣中止
町村社 2,765,000 △518,000 ○ ○ ○ ○ ○ ○ ○ ○ ○ ○ ○ ○ ○ ○ ○ ○ ○ ○ ○		か相次さ、事業	の一部か中市の	たっとによる戻く	ヘかめつたため 。							
地域の教育力を高め、県全体の社会教育の推進を図るため、 (1) 県・市町村対象の生涯学習・社会教育担当者研修の実 (2) 社会教育協議会主催の研修会に対する助成 (3) 社会教育主事養成講座の実施	県市町村社 会教育振興	2, 765, 000	△518, 000	0	0	2, 247, 000	1, 765, 670	0	481, 330	78.6		
	(: : : : : : : :	地域の教育力を (1)県・市町 (2)社会教育 (3)社会教育	F高め、県全体(T村対象の生涯 ⁵ 野協議会主催の ⁶ 育よ事養成講座	の社会教育の推学習・社会教育 学習・社会教育 研修会に対する の実施	£進を図るため ∮担当者研修の) ⇒助成	、市町村、公里港	民館等の社会教	(育関係者等を	対象とした各種も	开修会を実	施した。	

									₩,	<u>-</u>		調査	業			t=&0			妆能			
修了者数	17名	含む。)							11111	悠、不用額の理由等		指導者養成及び調査	ゞ +, 仝 杏 忠 油 終 拉			子どもの読書活動を推進するための			流書アドグチーの			
受講人数	25名	た者を信							₩	繰越、			7 七			ざもの説			。また。			
版	Åπ	『受講し						ļ	執行	B/A	95.9	行う人権	证 明 自		61.2				派遣した。			
	(オンライン)(オンラインと集合	昨年度と今年度で分割受講した者を含む。)						1	走引残額 (不用額)	A-B-C	200, 465	社会教育関係団体が行う人材育成、	阜的电海今害在闲 1、-11.7441、阜的电海明 日末ボーイ2441、阜的油明 阜的自7岁4、今客成海终位箋		497, 427	子ども読書アドバイザーの派遣や児童・生徒の読書推進の啓発など、			子ども読書に関する知識や豊富な経験を持つ「子ども読書アドバイザー」を保護者会や読み聞かせボランティアの研修会に講師として派遣した。また、読書アドバイザーの技能		6	
五容	数育経営論 会教育演習)	を修了した者。昨年	受講人数	54名	54名	60名	50名	1	光年 繰 城 額	K O	0	を目的に、	小阜形但浦叟		0	派遣や児童・生物			セボレントィアの		中に生徒への研修っ件)	7 1
	生涯学習概論、社会 生涯学習支援論、社: を組み合わせて実施	(4講座)を修						1 1 1	天出済額 (決質額)	E C	4, 643, 535	惟進を図ること	青年団 ボールスか		783, 573	アドバイザーの			替会や読み聞か			
2	涯学署	8名(全日程	内	り理解	学校と地域の連携・協働	ーディネートの実際①	ーディネートの実際②		11111	∓ ∢	4, 844, 000	もの生涯学習の		,	1, 281, 000	Ļ			バイザー」を揺		サラ 大学	F
绕	琴浦町生センター	修了者 5		社会教育の理解	学校と地域	コードイオ	コードイン	砮員	予備費	支出及び流用増減	0	向上及び本県	阜的固宜等学校 PTA 请合会	4 I V S S	0	ための取組とし			子ども読書アド			
	~2月17日(金)	タ養成講座	期日	30日(木)	月12日(火)	7日(水)	月13日(木)	算現	継続費及0	繰越事業費 繰越額	0	家庭・地域の教育力の向上及び本県の生涯学習の推進を図		•	0	子どもたちがより効果的に本との関わりを持つための取組とし)派遣等	言な経験を持つ「	開催した。 "	読書 / トハイ サーの別位員 ・派者件数・10件(詩み間かせボランティア)保護者	記るできない。
用销	13日(金)∼(日間)	3域コーディネーター		令和4年6月	令和4年7月	令和4年9月	令和4年10月	各		補正予算額	△1, 464, 000		究活動を助成した。 な什朱・皀取倡 DTA 協議会	*************************************	0	トリ効果的に本と		(1) 子ども読書アドバイザーの派遣等	関する知識や豊富	向上を図るため研修会を開催した。	読書ゲトハイサーの別個派書作券・10件(読み間)	アドゾザー:35人(令和4年度末)
	令和 5 年 1 月 (土日祝日) (集合開催 8	(4) 鳥取県地域コ		第1回	第2回	第3回	第4回			当初予算額	6, 308, 000	青少年の健全育成、	研究活動を助成した。 _{な什} 年・皀取皀 DTA	₹ (4	1, 281, 000	子どもたちが。	事業を展開した。	(1) 子ども読	子ども読書に	向上を図る	に記述する。	ランド・
									華本	(社会教育関 係団体等に	よる地域ブ	くり支援事業	₹	本の大好きな子どもを	ゴーのノロー ジェクト	- \ I					

		7)新作(天作:馬·	(2)村修会の開催(共催:鳥取県立図書館)							
		期日		会場		研修のテーマ	۲	受講者数	者数	
	令和 E	令和5年3月11日		ı	7年7壬	子どもと本をつなぐ〜絵本	お話	47人(うちアドバイザー11人)	ベイザー11,	<u>γ</u>
			(オンド	(オンライン開催)	・図書創	図書館の裏側~				
	(2) 乳幼規 市立図書	(2) 乳幼児期の子どもと保護者を対象にした啓発活動 市立図書館等と連携して乳幼児期の読書習¶	≸を対象にした啓 ご乳幼児期の読	<i>乳幼児期の子どもと保護者を対象にした啓発</i> 活動 市立図書館等と連携して乳幼児期の読書習慣定着に向けた啓発イベントを実施した。	ナた啓発イベ	、ントを実施し		(共催:鳥取県「体験の風をおこそう」	をおこそう	」実行委員会)
		期日		会場	*	参加者数		公		
	令和 4		チュウブ鳥取4 接珠末屋☆海4	チュウブ鳥取砂丘こどもの国 培珠市民な海センター	-=-		t学児から小学・	未就学児から小学校低学年の子どもと保護者を対 多レーセナロジャルの終末バッカづくU体験	もと保護者づくに体験	
	고 4U 2		是洛市内区河-	よる 日代 火流 インター みって	777	0条 中76	77.7	ノアの事体として、	いる。予選	
	· 3) 中学生 · 3) 中学士 · 3)	(3) 中学生・高校生ポップコンテスト (3) 詳書戦とも語者になって	ンテストト・一世が生に木魚	中学生・高校生ポップコンテスト 詩書戦かん蹈著「ガス山学生・真妙生」本を詩が機会「詩書の音蓋を批考」伝える(林路を封理士子を上が、コンデストを実施した	帯が看地「斤下、	入/框命左非型出古 2 .	インドグ コンドスト		. 自形自筆庁	(土城:自和县主广府等486、自和自河建街26)
	- 募集期	• 募集期間:令和4年8月1日~9月30日	3.1日~9月30日							
	応募作	- 応募作品総数:879点								
	優秀賞	: 40点(うち、10	点は鳥取県書店	・優秀賞:40点(うち、10点は鳥取県書店商業組合が選定する特別賞を受賞)	定する特別賞3	を砂質)				
		優秀賞受賞作	:品は書店で展;	<u> </u>	負や公立図書創	官で本の紹介に	活用した。			
	(不用略動/予算 新型コロナヴ	(不用額が予算現額の3割以上となった理由) 新型コロナウイルスの影響により、子ども読書ア ド・ゲゲーの)	となった理由) より、子ども読書	アジゲゲーの派	派遣が少なかったため。	:t=&>.				
		*	算 現	各頁		1	羽在市	2000年	# 1	
業名	当初予算額	補正予算額	継続費及び 繰越事業費 繰越額	予 備 費 支出及び 流用増減	ដ 4	メロダ銀 (決算額) B	サイタ 繰越額 C	左51次後 (不用額) A-B-C	秋1〕 奉 B/A	事業計画と実績・成果、繰越、不用額の理由等
児童養護施 設等と連携	452, 000	0	0	0	452, 000	94, 426	0	357, 574	20.9	
した自然体験活動推進	家庭環境等の違いのために (1) 自然体験活動の実施	家庭環境等の違いのために生じる「体験格差」 (1) 自然体験活動の実施	じる「体験格差	の是正のた	め、児童養護加	施設等を対象と	した自然体験	児童養護施設等を対象とした自然体験活動を行った。		
業	参加临设: 2施設	幅设								
	参加人数:合計20人	+20人								
	実施場所:空山	実施場所:空山ポニー牧場、大山青年の家	山青年の家							
	実施内容:県立	実施内容:県立施設等の指導員の指導・助言により、	外指導・助言によ	日帰りある	は出前活動で自然	Nt出前活動で自然体験活動を行った。		(主な活動内容) ポニー教室、自	自然散策、クラ	クラフト、野外炊事 等

	(2) 報告会は	(2) 報告会は新型コロナウイルスの影響により中止	スの影響により	中山							
	(不用額が予算現 新型コロナウイル	(不用額が予算現額の3割以上となった理由) 型コロナウイルスの影響により予定してい	なった理由) 予定していた事	(不用額が予算現額の3割以上となった理由) 新型コロナウイルスの影響により予定していた事業が中止となったため。	<i>\$</i> 0°						
		,	算 現	, 名頁		1	羽在审	24 和12 末	4		
事業名	当初予算額	補正予算額	継続費及び 繰越事業費 繰越額	予 備 費 支出及び 流用増減	計 A	メルダ銀 (決算額) B	英十及 繰越額 C	左51次領 (不用額) A-B-C	秋1」 率 B/A	事業計画と実績・成果、 繰越、不用額の理由等	海, 田等
(主) 地域 学校協働活	49, 838, 000	∆4, 706, 000	0	0	45, 132, 000	36, 098, 651	0	9, 033, 349	80.0		
動推進事業	主な事業に関する調べのとおり	する調べのとお	را ا	-							
とっとりふ れあい家庭	7, 556, 000	△482, 000	0	0	7, 074, 000	4, 589, 093	0	2, 484, 907	64.9		
教育応援事 業	家庭の教育力 習機会の提供、	家庭の教育力の向上を図るため、 機会の提供、相談体制の充実等言	ため、身近な寒等を細か	家庭の教育力の向上を図るため、身近な地域において家習機会の提供、相談体制の充実等きめ細かな支援を行うこ	庭教育を支援す とにより、地域	する「家庭教育支援チ 域全体で家庭教育を支	支援チーム 育を支えてい	の設置促進、 く人材育成・	万村担当者 ₹形成を推	市町村担当者や家庭教育支援員等への学 基盤形成を推進した。	6. 补
	く家庭教育をす	く家庭教育を支援する人材の育成>	育成>								
		研修会		期日				講師		受講人数	
	第1回			令和4年7月7	田 南部	員徐	人権・社会教育課	钌課 家庭教育推進員	崔 員	61人	
	市町村の家庭教	市町村の家庭教育支援充実に向けて	1けて		大阪	大阪教育大学 教育学部	学部 教授				
		1 () - -	ို 	令和4年10月3	ш	臨床心理士				52 人	
	ナーム域・大協	メ版由 C しこのヘナルノッノ	10.72	今和7年0日99		中,一个一个一个一个一个一个一个一个一个一个一个一个一个一个一个一个一个一个一个	4 - 4 E			1 97	
	ある当 支援方法の立て方、	(方、ケース会議の手法	意の手法	77 4 6 + + 13 4	<u> </u>	高級米福生信級 アントじじめ・不強校対策センタ	Κ Κ	指導主事		ζ cr	
	第4回			令和4年11月2	24 日 鳥取	鳥取市賀露地区公民館	館 主任			38 人	
	子育て・家庭教	子育て・家庭教育支援の充実に向けて	こ向けて		田田田田田田田田田田田田田田田田田田田田田田田田田田田田田田田田田田田田田田	岡山県教育庁 生涯学習課 社会 岡山県勝央町教育振興部 社会教 岡山県勝央町家庭教育支援チーム	課 搬 光 七	社会教育主事 :会教育主事 :一厶 家庭教育専門員			
	く家庭教育に関	く家庭教育に関する学習機会の提供>	の提供>								
	・「とっとり子 ・家庭教育支持	・「とっとり子育て親育ちプログラム」: ファシリテータ ・家庭教育支援アドバイザー派遣:アドバイザー2名を	コグラム」: フ ·派遣:アドバ	7	名を9ヶ所へ派遣 ヶ所へ派遣	派遣					

	くその他〉 ・鳥取県家庭教	くその他> ・鳥取県家庭教育推進協力企業:945社(令和5年3月	業:945社	(令和5年3月)	現在)					
	※鳥取県家島土的に取り	※鳥取県家庭教育推進協力企業:保護者である従業員が子育てしやす 主的に取り組む企業として、鳥取県教育委員会と協定を結んだ企業	企業:保護者で て、鳥取県教育	きある従業員が §委員会と協定	子育てしやす < を結んだ企業	く、また、子ど	もたちを健やな	バ に育てる地域活	動に参加	子どもたちを健やかに育てる地域活動に参加しやすい職場環境づくりに自
	(不用額が予算現額の3 市町村への補助金 が少なかったため。	(不用額が予算現額の3割以上となった理由) 市町村への補助金について、新型コ が少なかったため。	なった理由) C、新型コロナロ	ウイルス 歴染症	の影響により	2月補正時の沪	或額を上回る不	「用額が予算現額の3割以上となった理由) 市町村への補助金について、新型コロナウイルス感染症の影響により2月補正時の減額を上回る不用額が出たため。また、 (少なかったため。		家庭教育アドバイザー等の派遣
盂	79, 544, 000	△7, 170, 000	0	△438, 000	71, 936, 000	55, 972, 132	0	15, 963, 868	77.8	
		%	算 現	名		超於日十	33 年 世	15 25 25 25 25 25 25 25 25 25 25 25 25 25	1,4	
業名	当初予算額	補正予算額	継続費及び 繰越事業費 繰越額	予 備 費 支出及び 流用増減	# ∢	メロダ銀 (決算額) B	操 機 O 額	左51次码 (不用額) A-B-C	数 B/A	事業計画と実績・成果、 繰越、不用額の理由等
(目名) 青少	(目名) 青少年社会教育施設費	費								
船上山少年 自然の家運	101, 694, 000	△9, 726, 000	0	△477, 820	91, 490, 180	46, 323, 694	43, 615, 000	1, 551, 486	50.6	
包	船上山少年自然の家(1)年間空入者数(1)年間受入者数(2)その他施設修(3)主催事業の実)新型コロナウイ、主催事業の実)(4)鳥取県教育委」指定管理者に「流用477,820円のうなかったため。	家的数修実イ実委にのいての、「の」権施ル施員管は、プロー	運営及び施設の維持管 下SS・富士綜合警備報覧 日帰り6,520人 宿泊4等 等 ス等の影響により、当 状況:魚つかみ楽しみ 会指定管理候補者審査 理を行わせている県立 理を行わせている県立 で、新型コロナウイルス原	維持管理を行った。 警備保障地配業本・管理委託費 42,048,181円 宿泊4,623人 計11,143人 り、当初予定していた29事業のうち25事業を実施した。 楽しみ隊、ちっちゃい体験隊等17事業 参加者数:1,2 者審査・指定管理施設運営評価委員会の開催 る県立施設の管理運営状況の評価を実施した。 大山青年の家運営費へ流用、357,820円は生涯学習セン イルス感染症の影響により、消火栓ポンプの制御圏に使用される		42,048,181円 5525事業を実施 7事業 参加者数 5員会の開催 500円は生涯学 7つの制御 1800円は生涯学	費 42,048,181円 、のうち25事業を実施した。 (等17事業 参加者数:1,215人(左記は() ・価委員会の開催 評価を実施した。 357,820円は生涯学習センター費へ流用)	181円 業を実施した。 参加者数:1,215人(左記は(1)の内数) 開催 した。 女生涯学習センター費へ流用) 理鑑:使用される半導体が不足しており、消火格	光とが新	音理委託費 42,048,181円 11,143人 た29事業のうち25事業を実施した。 い体験隊等17事業 参加者数:1,215人(左記は(1)の内数) 設運営評価委員会の開催 営状況の評価を実施した。 へ流用、357,820円は生涯学習センター費へ流用) り、消火栓ポンプの制御圏に使用される半導体が不足しており、消火栓ポンプが年度内に納入されず工事が完了でき

	事業計画と実績・成果、 繰越、不用額の理由等		理委託費 42,421,359円 110人 5事業のうち20事業を実施した。 じめての冒険等20事業 参加者数:1,012人(左記は(1)の内数) 営評価委員会の開催 況の評価を実施した。 (120,000円は船上山少年自然の家運営費より流用) 127,000 115,423 0 11,577 90.9 大山青年の家 1事業・30人) 大山青年の家 3団体・156人) ナウイルスの影響により中止	
17 +	李 奉 B/A	94.0	90.9 (数) () () () () () () () () (65.5
1 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1	を51次領 (不用額) A-B-C	2, 876, 374	他した。 参加者数:1,012人(左記は(1)の内数) 手自然の家運営費より流用) の機会を提供した。船上山少年自然の3 ての活動は中止した。 156人) 中止	4, 439, 437
沿在车	年十及 繰越額 C	0	大山青年の家の運営及び施設の維持管理を行った。 - 指定管理者 (H31~R5) (公財) 鳥取県教育文化財団 ・管理委託費 42,421,359円 (1) 年間受入者数 日帰り12,269人 宿泊6,441人 計8,710人 (2) その他施設修繕等 (3) 主催事業等の実施 新型コロナウイルス等の影響により、当初予定していた25事業のうち20事業を実施した。 事型、コーナウイルス等の影響により、当初予定していた25事業のうち20事業を実施した。 ま権事業の実施状況:ファミリーエンジョイカヌー、はじめての冒険等20事業 参加者数:1,012人(左記は主催事業の実施状況:ファミリーエンジョイカヌー、はじめての冒険等20事業 参加者数:1,012人(左記は指定管理者に管理を行わせている県立施設の管理運営状況の評価を実施した。 (流用262,000円のうち、142,000円は社会教育企画費より流用、120,000円は船上山少年自然の家運営費より流用) 島取県星空保全条例の趣旨を踏まえ、星空観察会を実施し、星空環境を活用した教育の機会を提供した。船上加理者に委託。なお、新型コロナウイルスの影響により、移動式プラネタリウムを使用しての活動は中止した。 (1) 学校行事及び県立青少年社会教育施設における星空観察事業 主催事業:2事業(船上山少年自然の家 1事業・108人、大山青年の家 3団体・156人) 受入団体:1団体(船上山少年自然の家 1団体・11人、大山青年の家 3団体・156人) (2) 移動式プラネタリウム実施事業 令和4年度は新型コロナウイルスの影響により中止	43, 615, 000
十二次站	メルカ哉 (決算額) B	44, 944, 626	5つた。 500年 (1972) (1974) (19	91, 383, 743
	# ∢	47, 821, 000	・管理委託費 42,4 計18,710人 こいた25事業のうち20 一、はじめての冒険等 施設運営評価委員会の 運営状況の評価を実施 り流用、120,000円は 砂流用、120,000円は 200人、全空環境を活用 移動式プラネタリウム 200人、大山青年の家 108人、大山青年の家 11人、大山青年の家 201人、大山青年の家	139, 438, 180
額	予 備 費 支出及び 流用増減	262, 000	18年 18	Δ215, 820
算 現	継続費及び 繰越事業費 繰越額	0	(5) (公財) 高取得管理を行った。 (5) (公財) 高取 報 教育文化財団 日帰り12, 269人 宿泊6, 441人 (4) 12, 269人 宿泊6, 441人 (4) 142, 200円は社会教育企画費 (4) 142, 000円は社会教育企画費 (4) 142, 000円は社会教育企画費 (4) 142, 000円は社会教育企画費 (4) 142, 000円は社会教育を設定を型コロナウイルスの影響により (4) 142, 000円は 142, 200円は 200円	0
F	補正予算額	∆2, 090, 000	に山青年の家の運営及び施設の維持管理を行った。 指定管理者(H31~R5)(公財)鳥取県教育文化財団 ・管理委託費 42,421,35 (1)年間受入者数 日帰り12,269人 宿泊6,441人 計18,710人 (2)その他施設修繕等 (3)主催事業等の実施 新型コロナウイルス等の影響により、当初予定していた25事業のうち20事業を 主催事業の実施状況・ファミリーエンジョイカヌー、はじめての冒険等20事 ま程事業の実施状況・ファミリーエンジョイカヌー、はじめての冒険等20事 指定管理者に管理を行わせている県立施設の管理運営状況の評価を実施した。 (流用262,000円のうち、142,000円は社会教育企画費より流用、120,000円は船上山島取県型に交託。なお、新型コロナウイルスの影響により、移動式プラネタリウムを使用 (1)学校行事及び県立青少年社会教育施設における星空観察事業 主催事業・2事業(船上山少年自然の家 4事業・108人、大山青年の家 1事 受入団体・1 団体(船上山少年自然の家 1 団体・11人、大山青年の家 3 団体(2)移動式プラネタリウム実施事業 令和4年度は新型コロナウイルスの影響に (2)移動式プラネタリウム実施事業 令和4年度は新型コロナウイルスの影響に (2)移動式プラネタリウム実施事業 令和4年度は新型コロナウイルスの影響に (2)移動式プラネタリウム実施事業 令和4年度は新型コロナウイルスの影響に	152, 283, 000 \\rightarrow 12, 629, 000
	当初予算額	49, 649, 000	大山青年の家の運営及び施設の維持管理を行った。 ・指定管理者 (H31~R5) (公財) 鳥取鳥教育文化財 (1) 年間受入者数 日帰り12,269人 宿泊6,441 (2) 主催事業等の実施 新型コロナウイルス等の影響により、当初予主催事業の実施状況:ファミリーエンジョイ (4) 鳥取鳥教育委員会指定管理候補者審査・指対 指定管理者に管理を行わせている県立施設の(流用262,000円のうち、142,000円は社会教育企画島取県星空保全条例の趣旨を踏まえ、星空観察会理者に委託。なお、新型コロナウイルスの影響によ主催事業:2事業(船上山少年自然の家 4 引受入団体:1 団体(船上山少年自然の家 1 区(2) 移動式プラネタリウム実施事業 令和4年居	152, 283, 000
	事業名	大山青年の 家運営費	※ 環 → 動 業	盂

		*	算 現	額		} } +	1 1	# 4 1	1, 1	
事業名	当初予算額	補正予算額	継続費及び 繰越事業費 繰越額	予 備 費 支出及び 流用増減	計	文 山 済 額 (決 算 額) B	光中度 繰越額 C	差引 <u>条</u> 額 (不用額) A-B-C	现行 率 B/A	事業計画と実績・成果、 繰越、不用額の理由等
草퐯 (生涯学習センター									
涯学習 夕一遍	96, 430, 000	△1, 525, 000	0	653, 820	95, 558, 820	95, 498, 720	0	60, 100	99.9	
重	生涯学習センタ	オーの管理運営	一の管理運営を指定管理者により行った。	により行った。						
	• 指定管理者	(H31∼R5) ((公財) 鳥取県教育文化財団	教育文化財団	• 管理委託費	94, 345, 000円				
	(1) 入館者数	数 51,705人								
	(2) 施設修繕等	善等								
	舞台照明	舞台照明設備等の改修に係る実施設計を実施した。	5に係る実施設	計を実施した。						
	(3) 主催事業	枛								
	前記社会	前記社会教育企画費(17 (3) アント	とっとり県民カレッジ講座の開催)に記載のとおり	講座の開催)に	記載のとおり				
	(4) 鳥取県教	炎育委員会指定	.管理候補者審 <u>:</u>	鳥取県教育委員会指定管理候補者審査・指定管理施設運営評価委員会の開催	討選當評価委員	員会の開催				
	指定管理	里者に管理を行	わせている県	指定管理者に管理を行わせている県立施設の管理運営状況の評価を実施した。	貿出状況の評価。	を実施した。				
	(流用653, 820	円のうち、296	3, 000円は社会	(流用653, 820円のうち、296, 000円は社会教育企画費より流		円は船上山少年	用、357,820円は船上山少年自然の家運営費から流用)	費から流用)		
生涯学習も	(0)	(0)	(29, 900, 000)	(0)	(29, 900, 000)	(29, 900, 000)	(0)	(0)	(100.0)	
ンター空調売価事業	48, 431, 000	△9, 655, 000	29, 900, 000	0	68, 676, 000	68, 675, 200	0	800	100.0	
ボ	生涯学習センターの空調機4台の更新工事を行った。	-の空調機4台の <u>i</u>	更新工事を行った	-。(工事期間:令和	3年12月~令和4年11月	04年11月)				
生涯学習セ	0	72, 760, 000	0	0	72, 760, 000	61, 020, 000	11, 740, 000	0	83.9	
ンター舞台照明設備改作事業		 -の舞台照明指 以 構	等の改修を行う。			 				
₹ }	(繰越となった理由)	(田)								
	継続費であるた	-め、令和4年廚	執了残を全額合和	継続費であるため、令和4年度執行残を全額令和5年度に逓次繰越する。	<u>数</u> 于る。					

	事業計画と実績・成果、 繰越、不用額の理由等				
井	秋1」 率 B/A	(0) (100. 0)	95.0	(0) (100. 0)	82. 4
1 1 1 1 2 2 2 2 2 2 2 2 2 2 2 2 2 2 2 2	左51次段 (不用額) A-B-C	(0)	60, 900	(0)	24, 929, 205
恐作 中	ェ + / 反 繰越額 C	(0)	11, 740, 000	(0)	55, 355, 000
おが、日十	メルダ破 (決算額) B	(29, 900, 000)	236, 994, 820 225, 193, 920 11, 740, 000	(29, 900, 000)	456, 753, 000 376, 468, 795 55, 355, 000
	≣† A	(29, 900, 000)	236, 994, 820	(29, 900, 000)	456, 753, 000
客頁	予 備 費 支出及び 流用増減	(0)	653, 820	(0)	8, 384, 000
算 現	継続費及び 繰越事業費 繰越額	(29, 900, 000)	29, 900, 000	(29, 900, 000)	41, 781, 000 29, 900, 000
*	補正予算額	(0)	61, 580, 000	(0)	41, 781, 000
	当初予算額	(0)	144, 861, 000	(0)	376, 688, 000
	業	丰		盂	
	#	Ш		¢п	

8 予備費の充用調べ 該当なし

9 現金の取扱状況 該当なし

10 財産に関する調ベ (1)公有財産 ア 土 地

<u>†</u> † ;	軍力							
英末 # #	価額(円)	c	>	45,739,686	c	O	0	45,739,686
本年度末	面積(㎡)	c	D	99,830.41	C	D .	0	99,830.41
	登記年月日	R	Я		R	R		
	増減理由			\setminus			\setminus	
	価額(円)			0			0	0
本年度異動状況	面積(㎡)			0			0	0
本年	異動日	R	æ	\setminus	R	R	igwedge	\setminus
	增減別	増加	減少		増加	減少		
英末	価額(円)			45,739,686			0	45,739,686
前年度末	面積(㎡)			99,830.41			00:0	99,830.41
ł	M 4 12 12							
妆品力姓	肥 取	(内訳)			(内訳)		\setminus	\setminus
行政·普通財	産の 区分	4 出 也 以	1]哎別年	捍	提出财 期	自迪別库	냳	合計

イ建物

31日現在)	班								
(令和5年3月31日現在)	本年度末	価額(円)	C	0	12,601.30 1,945,078,261	C	>	0	12,601.30 1,945,078,261
	本年	面積(㎡)	O	0	12,601.30	C	•	0	12,601.30
		登記年月日	R	R		R	Ж		
		増減理由							\setminus
		価額(円)			0			0	0
	本年度異動状況	面積(㎡)			0			0	
	本年	異動日	R	R	\setminus	R	R	\setminus	\setminus
		増減別	増加	減少		増加	減少		
	度末	価額(円)			1,945,078,261			0	1,945,078,261
	前年度末	面積(㎡)			12,601.30			0.00	12,601.30
	4 4 4	T,							
	<i>本 女</i>	心改力寺	(沿)			(沿)			
	行政·普通財	産の 区分	4世 地 5	11以別生	丰	超相思辑	目用对任	丰	슈計

 ウ 山 林

 該当なし

 オ 財産の交換

 該当なし

 カ 動 産 (船舶、浮標、浮桟橋、浮ドック、航空機)

 該当なし

 キ 物 権

 該当なし

 該当なし

ク 無体財産権(特許権、著作券、商標権、実用新案件等)

(ア) 異動状況 該当なし

(イ) 出願及び登録の状況 該当なし

(ウ) 活用の状況 該当なし

ケ 有価証券 該当なし

コ 出資による権利 該当なし

(2)金券類の保有状況 ア<u>金券の保有状況</u> (有) ・ 無

タクシーチケットの保有状況

使用枚数及び金額 # 座 0枚 90枚 前年度末未使用枚数

(令和5年3月31日現在)

本年度末未使用枚数

88枚

2枚

(3)基金 該当なし

(4)債権決算資料提出データベースに提出済

11 財産の貸付及び使用許可調べ

•	
•	
	を
	mil.
)	び建
1	4
•	~
	地及
,	. 63
١	赵
	Ĥ
	П
!	
:	$\overline{}$
	_
	Ċ
•	_

		備考									
	貸付(使用許可)先	住 氏 名	米子市加茂町二丁目51番地中国電力ネットワーク株式会社米子ネットワーク株式会社米子ネットワークセンター	鳥取市富安2丁目137番地日本第ケーブルネットワーク株	式会社	鳥取県鳥取市湯所2-258 西日本電信電話株式会社					
	(田) 粽(本年度の貸付 (使用) 料	089 6		1, 500		1, 500	12, 680			12, 680
	貸付(使用)料	東便	089 6		1, 500		1, 500				
	貸付	(使用許可) 期 間	R4. 4. 1 ~ R9 3.31	R4 4 1	R9. 3. 31	R4. 4. 1	R9. 3. 31	///		////	///
	当初貸付	(使用許可) 年 月 日	H29 3 99		H25. 3. 1		H25. 3. 1				
	貸付	(使用許可) 年 月 日	R4 2 25	4	R4. 2. 25		R4. 3. 16				
	数量	又 は 面積	電柱8 本、支線 3木		共架線		共架線				
		所 在 地	西伯郡大山町赤松明間 原312-1 (県立大山青年の家)	鳥取市扇町21番地(県	立生涯学習センター)	鳥取市扇町21番地(県 立生涯学習センター)					
—————————————————————————————————————	貸付	(使用許可) 目 的	電力供給配電 線支持物設置	有線テレビジョンお米権	設設置	電気通信設備 設置				\ \	
, _–	行政·普	通財産の (4 区分 目		行內財産				丰	普通財産	丰	合計

イ 建 物 該当なし

(2) 物品(1品の取得価格が100万円以上のもの及び寄附受納時の評価額が100万円以上のもの)

				貸付料	(田)	貸 付 先			
品名	数量	規格·銘柄	貸付期間	東便	本年度の 貸付料	田田田田田田田田田田田田田田田田田田田田田田田田田田田田田田田田田田田田田田田	使用場所	貸付目的	華
緞帳	1	フック刺しゆう巾14. 8m× 高さ5. 5m	H31.4.1 ~ R6.3.31	無償	無償	鳥取市扇町21番地 (公財)鳥取県教育文化財団理事 長	生涯学習センター	施設の管理運営に供 するため	
グランドピアノ	-	4211CF	H31.4.1 ~ R6.3.31	"	"	"	"	n n	
デジタル印刷機	1	リングラフ RZ670	H31.4.1 ~ R6.3.31	"	"	"	"	n n	
キセノンピンスポットライト	2	松村電機製作所 SUPERSOL-1003SR/e	H31.4.1 ~ R6.3.31	"	"	"	n n	n n	
ホール用デジタルミキ サー	-	ヤマハCL-3、ヤマハRio 3224-D	H31.4.1 ~ R6.3.31	"	"	"	"	n n	
ホール用音響システム	1	BOSE ESP-002	H31.4.1 ~ R6.3.31	"	"	"	"	II	
ホール用音響機器	-	BOSE社 RM5520, RM7060, LT 9403 DS16SB, 802—3SG, 62 0M JBL:LSR305	H31.4.1 ~ R6.3.31	"	"	"	"	"	
ホール吊幕(諸幕)	-	(株)ナカヤマ 貫八綾別珍・防炎品	H31.4.1 ~ R6.3.31	"	u u	"	u u	u u	
ボーダーライト	-	150Wハロゲン×63灯 上下・中区分=12.6m	H31.4.1 ~ R6.3.31	"	"	"	"	"	
除雪機	-	フジイSD1123DK2	H31.4.1 ~ R6.3.31	"	"	"	大山青年の家	"	
絵画	-	油絵60号額縁付き「漂流」	H31.4.1 ~ R6.3.31	"	"	"	n .	"	
公用車	-	セレナ AT 4WD	H31.4.1 ~ R6.3.31	"	"	"	"	u u	
食器洗浄機	-	(株)マルゼン 本体1台 MDDGB8E R、専用作業用クリーンテーブル2台 及びステンレスフード1台は仕様書の とおり	R3.4.1 ~ R6.3.31	"	"	"	n n	"	
絵画	-	初雪の大山 100号	R4.3.30 ~ R6.3.31	"	=	"	n n	"	

	備考							
	貸付目的	施設の管理運営に供 するため	"	"	"	"	"	
	使用場所	船上山少年自 然の家	"	"	"	"	"	
貸付先	住 所 氏 名	米子市米原8—11—49 TKSS 富士綜合警備保障共同企業体 (株)TKSS代表取締役	"	"	ıı	"	"	
(円)	本年度の 貸付料	無償	"	"	"	"	"	1
貸付料	単価	無價	"	"	"	"	"	
	貸付期間	H31.4.1 ~ R6.3.31	H31.4.1 ~ R6.3.31	R3.4.1 ~ R6.3.31	H31.4.1 ~ R6.3.31	R4.3.30 ~ R6.3.31	R5.3.24 ~ R6.3.31	
	規格·銘柄	TA-CSH575S,TD- MD100G,D-5100-06	パジェロ 三菱LA- V73WLRUVQ	PA-13A2	日本画(船上山北壁)F30 号	書間の日ざし 100号	(株)マルゼン ガススーパー スチームSSCG-06D ※標準 附属品一式、専用架台、ホテ ルパン三種付	
	数量	-	1	1	1	1	-	
	品名	エルネット受信システム	公用車	食器洗净機	絵画	絵画	スチームコンベクションオーブン	수計

12 借受不動産明細調ベ

	======================================		町山川807-2 管理者 本課で 却約662	307-2	町山川807-2 管理者 //	東伯郡琴浦町赤碕1142-3 琴浦町 琴浦町長	
借受先		使せて出る。	東伯郡琴浦町山川 賞 以西財産区管理者 琴浦町長				0
	借料(円)	単価 本年度の 借料	月額・年額 無償	月額·年額 無償	月額·年額 無償	月額·年額 無償	
数色の状況		借受期間	S51.5.18 日 存続中	S51.5.18 日 存続中	H2.4.27囚存続中	H2.4.27日存続中	
		契約書 の 角 第	柜	世	有	有	
	数量又は	国	26,647	299	214	751	
	所 在 起	[東伯郡琴浦町山川807-2	東伯郡琴浦町山川807-11	東伯郡琴浦町山川807-4	東伯郡琴浦町山川807 — 12~14	
	借砂(使用)目的		施設運営のため	施設運営のため	施設運営のため	施設運営のため	
	種別		本日	界	原野	母	
	区		出	出	十 十	计	슈

13 職員駐車場の管理状況調ベ (1) 管理状況

と 単 井	‡ 1	1区画の面積	貸付(使用)料(月額)
別性のでが	Ŧ	(\mathfrak{m})	(田)
	[鳥取県西伯郡大山町赤松明間原312番地1	12.5	1000
行政財産			
普通財産			

(2)減免の考え方 公有財産事務取扱要領第11の4の4(通勤手段として勤務先官公署への交通機関が確保できない場合)に該当するときに減免。 (深夜・早朝の業務に従事する職員は公共交通機関の利用ができないため。) (3)使用料の見直し 該当なし

14 寄附物件の受納状況調べ 該当なし

備品の処分状況調べ ე ე

		H K			必			
品 名 (規格・銘柄)	(保管換年月日) 取得年月日	7. 次 次 定 年月日	売 乗 の別	売払方法・棄却理 由	処分 年月日	売払額	処分費用	備考
冷凍庫						田田田田田田田田田田田田田田田田田田田田田田田田田田田田田田田田田田田田田田田	E	用がほごう
ホシザキ電機(株)HF- 150PS	平成8年5月28日	令和4年6月29日	棄却	耐用年数超過に より更新したため	令和4年9月27日		0	天利 はにつ 取を依頼
カラーテレビ他						田田田田田田田田田田田田田田田田田田田田田田田田田田田田田田田田田田田田田田田	E	
36型パナソニックTH- 36FP50	平成15年9月26日他	令和4年8月4日	棄却	故障、修理不能に より今後使用見込 みがないため	令和4年9月27日		48,950	
蒸し器						Æ	E	
タニコS-TSB-60	平成10年4月1日	令和4年12月27日	棄却	耐用年数超過に より更新したため	令和5年3月8日		0	取を依頼

16 貸付金等状況調ぐ 該当なし

○ 意見、要望等 (1)業務に関する要望等 特になし

(2)監査委員事務局に対する意見·要望等 特になし